

## 椿の会（京土会女性支部）学生・OG オンライン交流会報告

2021年4月5日

このたび、京土会のご支援、ご協力を賜り、初の試みとして学生・OG オンライン交流会を無事に開催することができましたのでご報告申し上げます。

椿の会ではこれまでに3回、京都で開催した現役学生向けのキャリア支援交流会と、2019年に初めて東京で開催したOG交流会を統合し、オンラインで開催するという試みでした。交流会には、学生8名（学部1回生～修士2回生）、国内外の卒業生12名にお子さん6名も参加しました。

京土会会長の三村衛先生（1981、1983）の開会の挨拶に続き、卒業生全員がスライド1枚を用いて自己紹介をしました。その後、ランダムにグループ分けをし、25分ずつ2回のセッションで懇談しました。1グループを4名前後としたこともあり、本音が飛び交う楽しい交流の場となりました。交流会のあと参加者にご協力いただいたWebアンケートでは、以下のような感想が寄せられました。

### （卒業生）

- ・ 活躍されている先輩の話も伺えて、非常に有意義で楽しかったです。
- ・ 初めての参加でしたが、皆さんのお顔を拝見しながらご活躍の様子を窺えて良かったです。
- ・ 異なる年代、職種、生活環境の皆さんが自由に話し合える場となっていることを知りました。私自身も大変刺激と元気をいただきました。次年度以降も継続して実施していただくように希望します。
- ・ グループ分け後は学生さんも積極的に話されていて、多岐にわたるお話ができました。卒業生の自己紹介も簡潔でありつつ交流に必要な情報を網羅していたように感じました。
- ・ 学生さん含めての交流会の場合は、このようにオンラインの方が話しやすいのではと思いました。
- ・ オンラインだと反応がまいちわからず、発言が難しかったです。グループ別は、人数がちょうどよく話しやすいですが、全員と話せないのが悩ましいです。

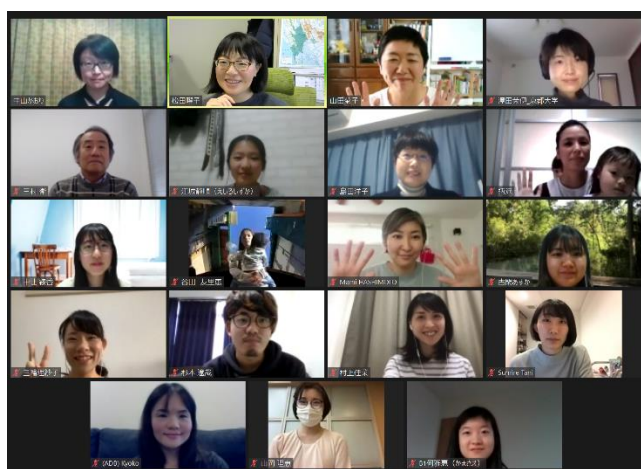
### （現役学生）

- ・ それぞれ全く属性の違う先輩方・先生方・後輩とお話しできて素晴らしい機会となりました！ぜひ来年も参加したいです。
- ・ ブレイクアウトセッションでは特に、先輩方に女性のキャリア形成の現状（変化も）を赤裸々にお聞きすることができ、これから社会に出るにあたっての（安心も不安も含め）実感がわきました。これから本当の意味での女性活躍に必要な取り組みに関してまで議論でき、本当に勉強になりました。
- ・ こうして話を聞いたことで、自分自身がどのように女性の置かれている違和感のある現状に立ち向かっていくべきかを改めて考えましたし、後続に対して、先輩方のように自分も何か伝え、実行できる役割を担いたいなと思いました。
- ・ いままで女性の社会人の先輩方とお話する機会が無かったので、女性ならではの話をたくさん聞くことができたのは非常に有意義でした。活発にお仕事されたり活動されている方がこんなにいるんだ、と知れたのは自分にとってこれからの励みになりそうです。
- ・ 先輩と繋がることができ何よりも嬉しいです！
- ・ 様々な分野で活躍されているOGの方々の話を聞くことができ、非常に有意義な時間を過ごすことができました。

COVID-19 感染拡大が続く中の苦肉の策として、オンラインでの開催を決めました。不慣れなための不手際もありました。接続が難しかった方、話しにくいと感じた方もいらっしゃいます。しかし、先輩のリアルな話を聞く機会が必ずしも多くなく、特に今年は登校する機会も少なかった学生と、京都から離れた地に住み、子育て中の方も多い OG の双方が、気軽に集まることができました。交流会の継続を希望する声や、オンサイトとオンラインのハイブリッドでの開催の提案などをいただいています。前向きに検討します。

開催に際して京土会、教室の各先生より頂いたご支援、ご助言に心よりお礼を申し上げます。今後ともどうぞ指導、ご支援、ご協力をいただきたく、お願いを申し上げます。

発起人一同 山田菊子 (1989, 1991) / 中山かおり (1994) / 松田曜子 (2002, 2004, 2007) / 澤田茉伊 (2006, 2008, 2016) / 三輪理紗子 (2015, 2017)



オンライン集合写真